

図書館だより

NO. 94 2005年 12月号
(2005年12月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

**光陰矢のごとし。今年も、残すところあと1か月となり
ました。1年を振り返って、みなさんにとって今年はどうな年
だったでしょう。**

はつかいち市民図書館の1年は、6月にインターネット予約を開始、10月には、図書館まつり開催、11月には、合併によって、旧大野町図書館が、はつかいち市民大野図書館(大野図書館)になる…いろいろと新しいできごとがあり、忙しい年でもありました。

合併とともに、コンピューターシステムが統合されたので、館内の利用者蔵書検索用端末やホームページでは、大野図書館にある本も検索することができます。館内で検索し、大野図書館に本がある場合は、リクエストカードで申込みをしてもらう必要があります。週に2回の配送で取り寄せるので、時間が少しかかります。貸し出し中の場合や、予約が入っている場合は、これまでと同様に借りられるようになり次第、連絡をします。返却は、どちらの図書館でも可能になりました。両館ともにこれからもよろしくお願ひします。

今月の展示

・人権について

正面

12月10日の人権フェスタの講師は、著作で元気の出るメッセージを送り続けてくれる海原純子さんです。講演をきいたり、一冊の本を手にとることで、人権を大切に考えるきっかけになることがきっとあるはずです。

・さくらびあ物語の本

展示コーナー

3月には、毎年手作りの素敵な舞台で楽しませてくれる、はつかいち市民ミュージカルが開催されます。ミュージカルをもっと楽しむための本を紹介します。

児童書

・『サンタクロースがやってくる!』

子どもの本の展示コーナー

もうすぐクリスマス。おいしいケーキにサンタさんからのプレゼント…この季節は楽しいことがいっぱいです。今月は、クリスマスにぴったりの本をたくさん用意しました。

今月の新刊 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。ここでは、その中からみなさんにおすすめしたい本を4点あげてみました。

※図書館のホームページで新着図書の一覧をみることができます。

『定番おせちとお祝い料理』

世界文化社 596.4/テ

初心者でもうまく作れるように、コツを目で見てわかりやすく、たくさんの写真を使って、定番といわれる品をそろえたおせちの作り方。さらにひな祭り、お彼岸など四季折々行事の日に食べたい献立、季節を味わう旬の味覚も紹介する。

主婦の友社 627.9/イ

これからのクリスマスシーズンやインテリア、プレゼントで一年中活躍しそうなリースの数々。初めてでも簡単に作れる市販の台を使ったリースから、ナチュラル素材を生かしたおしゃれでシンプルな作品まで作り方を紹介。

『私の介護days』

～仕事もおしゃれも。～』

横森 美奈子/著 小学館 916/ヨ

母が、そして父もボケた! 気ままなシングルから突然、3家族同居の自宅介護生活へ。ファッションデザイナー横森美奈子の10年にわたる老親介護を率直に書き綴った体験記。「介護予備軍」、そしていま「介護と向き合っている」女性に。

『円満退社』

江上 剛/著 幻冬社 F/E

東京大学を出て一流銀行に勤めるも、出世とは無縁。うだつのがらめ宮仕えを34年、悪妻に虐げられた結婚生活を26年続けてきた岩沢千秋、56歳。定年退職を迎える日、彼は人生最大の賭けに打って出る。その仰天計画とは?

『はじめてのリースと花飾り』

図書館にある全集紹介

個人全集(日本) 8

みなさんは「読みたい本が単行本では貸出中だけれど全集にはあります」といわれたことはありませんか? 図書館には、いろんな種類の全集を揃えています。そこで、具体的にどういうものを所蔵しているのか、紹介していきます。

- ・『松本清張全集』 1～66巻 松本 清張/著 文藝春秋 918.6/7
「砂の器」や「黒革の手帖」も、この中に収録されています。
- ・『三浦綾子全集』 1～20巻 三浦 綾子/著 主婦の友社 918.6/ミ
- ・『三島由紀夫全集』 1～35巻 補巻1 三島 由紀夫/著 新潮社 918.6/ミ

あたらしく入った本 こどものほん

「まいこのマイロ」

大島 妙子/作 あかね書房 E/オ

ミーシャおぼさんちの犬が子犬を7ひき生み、子犬たちはすくすく育っていました。初めての散歩で、いちぼん千ピでこわがり屋のマイロは、おぼさんの袋の中から雪の上に落ちてしまい……。

「わたしの すきなもの」

フアンソワズ/さく なかがわちひろ/やく 偕成社 E/セ

わたしいきものがすき。いちぼんすきなのはねこのミネット。それから、わたしのすきなものは……おうちや食べものなどすきなものが、心温まる絵で次々に出てきます。すきなものたくさん幸せな絵本。

「だれも知らない

サンタの秘密」

アラン・ス/ウ/さく 三辺 律子/やく

あすなろ書房 E/ス

サンタさんはどこに住んでいるの？どうしてみんなが欲しい物を知ってるの？と謎がいっぱい。クリスマスという〈大事業〉をサンタさんがどうやって行うのかが、詳しくユーモラスな絵で解説されています。

「しばわんこの今日は佳き日

—しばわんこの和のこころシリーズ—

川浦 良枝/絵と文 白泉社 386.1/カ

稲をめぐる行事や風景、おそば屋さんの年の瀬の様子、結納の儀式や日本の結婚式など、古くから伝わる和の暮らしや作法を「しばわんこ」が楽しく紹介しています。シリーズ最新刊。

「わたしたちの帽子」

高橋 方子/作 出久根 育/絵

フレーベル館 913/タ

家の改装で住むことになった部屋は、おしゃれな表通りから一步入った古いビルにあった。サキが、その部屋で見つけた帽子をかぶると、心がふんわりわくわくしてきて……。少女の不思議な体験を描いた物語。

「子どもに語る

アンテルセンのお話」

松岡 享子/編 こぐま社 949/ア

30歳の時、アンテルセンは初めて童話集を出しました。彼自身、童話を大切なジャンルと考えていませんでしたが、彼の名を不滅にしたのは童話でした。この本のお話は、声に出して読んであげてください。

- 『決定版 夢をそだてる みんなの仕事101』 講談社 366/1
- 『土をつくる生きものたち—雑木林の絵本—』
谷本 雄治/文 盛口 満/絵 岩崎書店 481/タ
- 『マチルダは小さな大天才』
ロアルド・ダール/著 ケンティン・ブレイク/絵 宮下 嶺夫/訳 評論社 938/タ
ロアルド・ダールコレクション16巻目。
- 『蜘蛛の糸』・『くまの子ウーフ』ほか
ポプラポケット文庫がたくさん入りました。
- 『おおさむこさむ』 こいで やすこ/さく 福音館書店 E/コ
- 『くものすおやぶんとりものちょう』 秋山 あゆ子/さく 福音館書店 E/ア
こどものとも傑作集としてハードカバーになりました。

図書館からのお知らせ

子どもと本の講座

新刊紹介～絵本を中心に～

と き **12月7日(水)** 10:00～12:00

ばしょ 市役所7階会議室

講師 図書館職員

2004年11月～2005年10月までにはつかいち市民図書館に入ってきた本を紹介します。ぜひ、ご参加ください。申し込みは不要です。

図書館からのお願い

<年末年始の返却ポストの利用について>

市民図書館のお休みは、
12月28日(水)～1月4日(水)
です。この間、返却ポストの利用はできませんが、返却ポストの容量には限りがあるので、できるだけ、開館してから窓口へお持ちください。本の傷みを防ぐことにもなります。また、ビデオやCDなどは壊れやすいので返却ポストには入れないでください。ご協力お願いします。

利用案内

開館時間 10:00～18:00
貸出冊数 図書 2週間 8冊
視聴覚資料 2週間 2点
休館日 月曜日(祝日のときは翌日)
毎月月末日(その日が土・日・月のときはその翌日)
返却ポスト 1, 正面玄関向かって左
2, 図書館裏駐車場右